

キセキノカタチ









可愛い
ですね…



泣いても
可愛いなんて
反則ですよ

早苗さん

子供に変な事
吹き込まない
で下さい



妹とかいたら
あんな感じな
のかなあ…

早苗さん!?

は!!



文さん!

アセアセ

どうしました?



どうした?
じゃないです!

友好的な文ちゃん
として人気もある
のに変な噂が広まっ
たらどうしてくれ
るんですか!

記者活動に
支障が出るし

遊びにも来れ
なくなりませす!





どうでしょう？

って…
何でしょう？

何か隠して
ますね…

そうでしたか！

それを突き
止めたい
ですね！

あっ！
早苗さんだ！



お買い物
ですよ

みなさんは
暗くなる前に
帰るんですよ

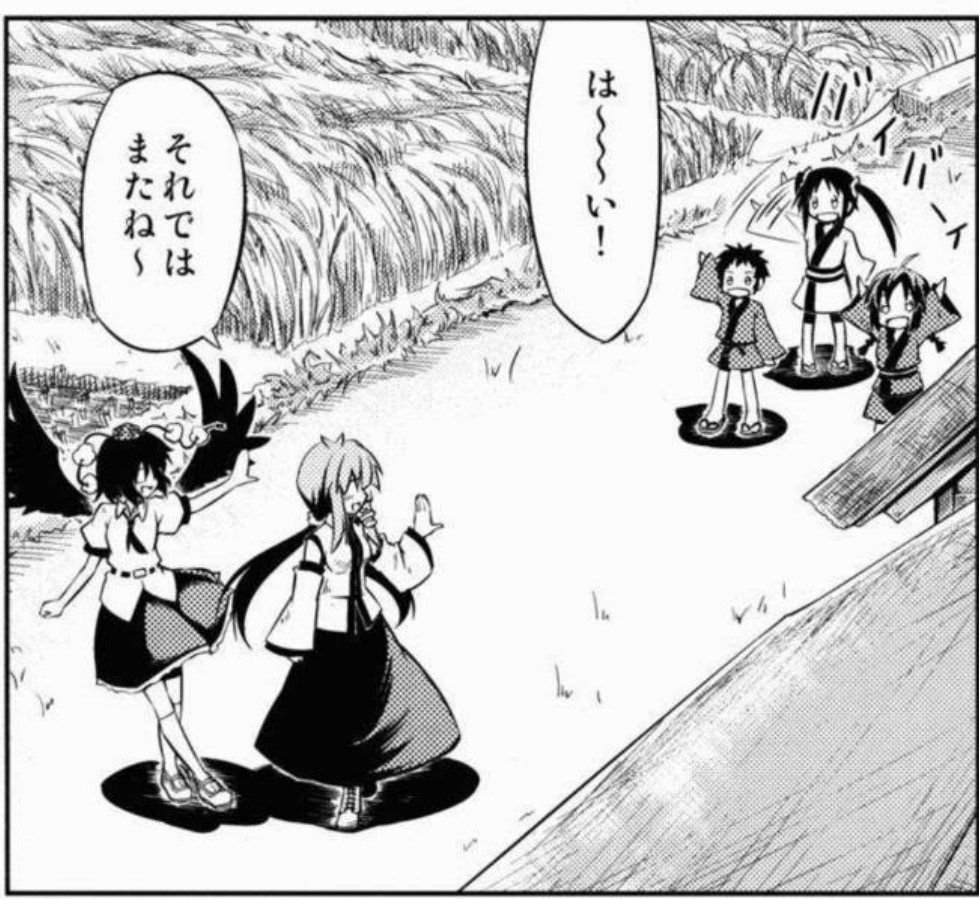


おひさし
ぶりです！

じゅん！

こんにちわ

何してるの？



は〜い！

それでは
またね



なんせ妖怪の山の
神社の巫女ですからね

不審に思われても
いるかもしれませんが

そのままです
いいんですか？

？

神社の評判
に関する話
なのに

そんなに悠長
でいいのかな
と思ひまして

いいんです

私達は外から
来たんです

ここは
閉鎖された
幻想郷です

簡単に受け入れ
られるとは思っ
ていません

そういうのは
時間がかかる
ものですよ

確かにその通り
かもしれない
が…

人間からの
信仰は諦め
たの？

諦めた訳
ではなくて

うくん

そうですね

例えばなぜ
食料など運ば
せているのか
という

「妖怪の山の神社
に行っても無事に
帰ってこれる」

という保障を
作っているのです

その話が広まれば
神社への参拝が
増える事でしょう

河童の技術品を
境内で販売・流通
する事でさらに
増やせます

その話は広まり境内の
貿易が活発になれば
もつと人が集まります

人が集まれば
参拝する人も増え
信仰が集まります

将来的に人が集まり
易い環境作りの一環
みたいな物ですね

守矢神社
おそるべし
ですね…!!

おお、

そんな計画が
あったとは…

あくまでも
短期プラン
なので…

さて
どうしま
しょうか?

他にも
何か?

それは
一体?

なんなの
ですか!?

早苗さん
教えてくだ
さい!

そこまで
言われたら
仕方ありま
せんね!

長期プランの方は
さきほどの子供達が
ターゲットなのです!

ですが何か
特別な事をしてる
訳じゃないのです

寺小屋であの子達の
お話し相手になったり
一緒に遊んであげたり
するだけです

子供達と
遊ぶだけ

…ですか?

はは…



そうですね

文さんが思ってる
以上にですかね？



それで一体何が
得られるという
のです？

さぼりですか？



あの子達が大人になり
結婚して子供を生み
老人になって孫に話す

そうしたら
あら不思議！

守矢神社への
嫌悪感が薄まり
好感度が高まって
いるのです！

そうになったら
良いなと思う
んですよ



守矢の巫女として
そうなるように

地道な努力は
惜しみません





文さんから
見て人間は
強いですか？

弱いですね

肉体的にも
精神的にも

はい
その通りです

ですが人間は
自分は強いと
思っています

弱いからこそ
いつの時代でも
集まって暮ら
しているのです

そして人間は古来より
コミュニティを守る為
に集団で攻撃します

そこには連帯感も
生まれより強固な
集団となります

集団で攻撃する
という攻撃衝動が
形成されました

理由は何でも
良いのです

自分を正当化
できる歪んだ
理由で十分な
のです…

ですが外敵の居ない
平和な世の中では
どうでしょう？

攻撃衝動を発散する事
が出来なくなった人間は
他に目を向けます

自己満足させる為に
より弱い動物など…

そしてそれは
周囲に感染して
いきます

例えそれが
本気ではない

「じゃれあい」
と言われればそう
かもしれない

ですが

根本にある
攻撃衝動に従って
集団で攻撃するの
ですから

敵役になった人は
たまたまものでは
ありませんね

心が壊れて
しまいます

本当に酷い
話ですが…

加害者全員が
自分も被害者に
なる可能性がある

それを本能的に
理解しています

だからこそ
やめられ
ません…

ですがそれで
充足している事
も理解してます

一度味わえば
それは甘くて甘くて
その誘惑に抗う事は
難しいのです

それは麻薬のような
中毒性のとても強い
背徳の甘い蜜

人間の弱さは
自己正当化に
だと思えます

彼らもまた
弱い人間の
です

だからと言って
許される訳では
ありませんが…

そんな人間に
何を求めましょう？

人間らしい事を
求めてはいけな
かったのです

私は現人神
なのですから

信仰以外に求める
物などありません

友人などもつての
ほかだったのです

早苗さん…

霊夢や魔理沙
とは…？

幻想郷を知るための
大事な情報源です…

表情を見ると
人間そのものを
嫌ってる訳じゃ
ないですね

揺れてる？

自分で壁を作り
遠ざけて…

いえ

一線を引いて
近づけないように
しているのですね



早苗さん!

はい?



人間が好き
なのに自分を
偽る人間...

神なのに人を
信用できない
現人神...

おもしろいです!



私は妖怪ですし
問題ありません!

それに

貴女と親しくなれば
守矢神社に簡単に
出入りできるとい
う利点があります!



私と友人に
なりましょう!

はあっ!?

貴女の揺れる
心を見ていたく
なりました!



何も聞いて
なかったん
ですか?

私は友人なんて
いなかったん
です!

それは人間の
でしょう?





お返事は明日
でもいいので！

それではこれで
失礼しますね！



行っちゃった...

.....



あっ

何が大丈夫
なのよ...

まったく



誰かを傷つける
のも許せなくて…

でも…
あんなった

誰かが傷つくのが
見たくなくて…

嫌な事を思い出し
ちやっとな…



はあ…

今日はおかしな
日でした…

……

友達か…



妖怪だから
大丈夫！

なんですか
それ？

そんな理由にも
なってませんよね

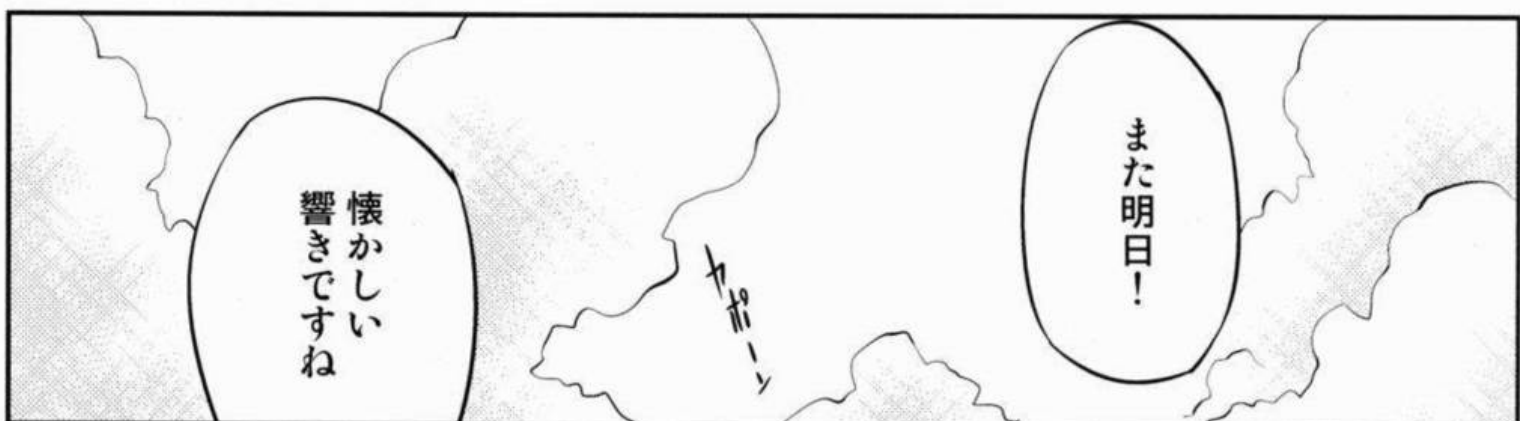
くっ



でも…

いきなりだったけど

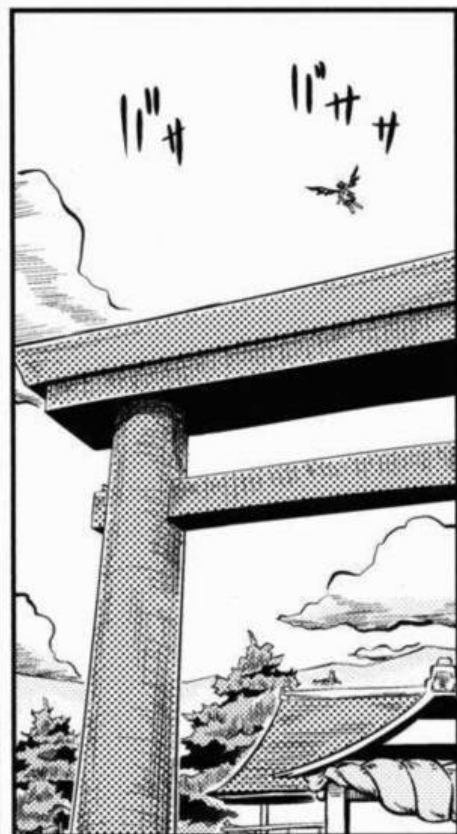
あんな事を言う人も
いませんでしたね



また明日！

懐かしい
響きですね

アホー





こんにちはわ

さなええ!



何笑ってるんですか?

いえいえ
ちよつと面白くて!

なんですかそれ!?

あ、それより
敬語禁止でっ!

友達ならいら
ないでしょう?

なっ!

ささ!
何か喋って!

それは慣れて
ないからちよつと
恥ずかしい...



ひつじんトコ
東方 Project FanBook